

南大沢スマートシティ協議会 新たな実証プロジェクトの実施方法について

- ✓ 実証プロジェクトごとに、各委員に負担金の支払を募り、目途がいたら実施する。
- ✓ 費用負担が困難な場合は、実証フィールドの無償提供など金銭によらない方法での協力も可とする。
- ✓ 費用負担又は金銭によらない方法により協力いただいた委員には、実証データ等の取得、協議会広報への企業宣伝の掲出などができる。

区分		費用負担等	メリット
実証プロジェクトに合意した者	費用負担ができる	実証プロジェクトごとに定める 一口当たりの金額を最低金額として 、その費用を負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実証データの提供 ・ 協議会広報への企業宣伝の掲出
	費用負担が困難	実証フィールド、通信環境又は自社サービスの無償提供等、 金銭によらない方法 で協力	
	その他	負担なし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公開資料のみを提供
実証プロジェクトに合意しなかった者	負担なし		

【今後のスケジュール（案）】

第2回協議会（10月20日）	実施要綱(案)の提示
第2回部会（12月1日）	プロジェクトの進め方等の決定、内容(案)の提示
第3回協議会（12月15日）	実施要綱・内容・負担方法の決定
令和6年1月～2月	新たな実証プロジェクトの実施
令和6年3月	報告・評価